

# 大野保育園保健だより 7月号

令和7年7月2日

文責:町田 幸代

最近30° 越えの暑い日が増えてきましたね。保育園でも熱中症に気を付けながら外遊びや室内遊びを楽しんでいます。熱中症の予防には毎日の十分な休息と栄養補給が大切です！自宅での早寝早起き朝ごはん、しっかりと体調を整えて登園しましょう！

## 6月の感染者情報

- アデノウイルス…1人 ●溶連菌…1人 ●突発性発疹…1人 ●手足口病…1人 ●ヘルパンギーナ…2人
- 水ぼうそう…1人 ●発熱…14人 ●扁桃炎…1人 ●下痢…1人



## いよいよプールが始まりました！

皆が楽しみにしているプールを安全に充分楽しむためにも、プール前の体調チェックをお願い致します。

- 爪は伸びていませんか？ ●鼻水や咳は出ていませんか？ ●目や二や充血はありませんか？
- 皮膚に異常はありませんか？ ●熱はありませんか？ ●食事や睡眠はとれていますか？

※耳、鼻、喉、眼、皮膚の病気は治療を済ませておきましょう。

※水遊びは意外と体力を消耗します。夜は早めに寝かせる等、疲れを残さないようにしましょう。

**※治療中の病気や内服の有無、前日や今朝の体調や機嫌が悪かった、または違和感があった等体調に変化があった際には、事故を防ぐためにも必ず職員へお伝えください。**

## ★水いぼについて★

プールの時に気になるのが水いぼですね。冬の間に治りきらず爪でかきむしってしまい、個数が増えたり、広範囲に広がっている子もみられます。プールの前に治療しておくのが一番ですが、自宅でも水いぼのかきこわしによる症状拡大にもご注意ください。また、1個や2個等、個数が少ない時に皮膚科を受診し、取ってもらう事が一番広がりを防ぐ事が出来ますので、早目の治療をおすすめします。

### 蚊に刺されると、 すぐはれるのはなぜ？

蚊は、血液を吸うときに自分の口から唾液の成分を私たちの体に注入します。この成分に、免疫が過剰に反応してアレルギーを起こし、はれやかゆみを起こします。

ただ、蚊に刺されたことのない赤ちゃんや小さな子どもでは、体の中でアレルギーが起こるのに時間がかかり、反応も強くなります。そのため、少し時間がたってから、すぐはれてびっくりすることがあります。



1～2日後には  
はれてくる

刺された翌日くらいから、赤くはれたり、水ぶくれになったりし、数日続きます。

### ひどいときは病院へ

炎症を抑えるステロイドの塗り薬が必要な場合がありますし、水ぶくれからばい菌が入る危険があります。ひどいときは早めに小児科や皮膚科で相談しましょう。